
スマ村のみんなの生活

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマ村のみんなの生活

【Nコード】

N8261Y

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

今回のみんなはクリスマスでマリオパーティ2・5・6・7・8・DSのミニゲームで自分自身を使って遊んでいます！ミニゲームは……いろいろです！

その前のみんなは行く準備 プロローグ（前書き）

さて、かききれるかな？

その前のみんなは行く準備 プロローグ

キノコ王国

こんこん・・・

???「マリオさんとルイーダさんお手紙です」

マリオ「おおパレッタご苦労さんどこからの手紙？」

パレッタ「えーと、この世界のマスターハンドさんからです」

マリオ「また、あいつか・・・」

ルイーダ「そうだね・・・」

???「こんにちわ」

マリオ「あれ？ピーチ姫？何しているんですか？」

ピーチ「私にもその手紙と同じ内容よ。もしかしてまだ、読んでない？」

マリオ「うつうん・・・」

ピーチ「読んでみれば？」

ルイーダ「兄さん読んでみよう！」

封筒の中にはこんな手紙があった。

マリオ殿へ

マリオさん、あなたはスマッシュブラザーズ一員なので今から至急この世界へ来てください。

この手紙を持って来てください。では、後ほど。

マリオ「ふーん」

ルイーダ「行こうよ兄さん」

マリオ「ああそうだな！」

ピーチ「うふふふ」

ジャングル

???「うほ〜」

???「うきやきやきや」

こいつらはドンキーとデイディーである。

ドンキー「うほ〜（おい、デイディーこの手紙なんだ？）」

デイディー「うきゃきゃ（これはマスターハンドからの手紙だよ）」

ドンキー「うほうほ（じゃあこの世界へ行けばいいんだな？）」

デイディー「うきゃうきゃ（そうだよ！）」

こうして二匹は走って行きました。

ヨツシーアイランド

緑ヨツシー「ねえこれなんだと思う？」

赤ヨツシー「えーとなんだろう？」

青ヨツシー「食べ物でもねーしな」

緑ヨツシー「これはスマブラの主催者からの手紙だよ！だから、これを持って僕は出かけるから留守番していてね」

クツパ城

カメツク「クツパさま城にこんな手紙が・・・」

クツパ「何だと・・・」ボカツ

カメツク「グへ〜〜」

クツパ「そうかそうか、よし！」

カメツク「どうかされましたか？クツパ様？」

クツパ「5年くらい留守番しておいてくれ今から用事があるからな！」

カメツク「ごつ5年ですか？」

クツパ「そうだからと留守しとけよ！」

クツパは自分専用の飛行機で飛んでいった

そしてワリオは

???「ワリオ〜〜手紙だぜ〜」

ワリオ「何だワルイージそうぞうしいな！んっ手紙がかせっ！」ドカン

ワルイージ「ぐぎゃ！」

ワリオ「フムフムよしワルイージちよつと行ってくる」

ワルイージ「んが？なんだ？ワリオどこか行くのか？」

ワリオ「ああちよつとな」

ワルイージ「俺も連れてつてくれ」

ワリオ「駄目だぜ。じゃあな」

ワリオはバイクを取り出し走っていった。

ハイラル王国（城にて）

???「オゝゼルダ」

ゼルダ「あらリンクどうしました？」

リンク「こんな手紙が届いたんだよ。ゼルダも届いてる？」

ゼルダ「うんあるよしかも2つ・・・」

リンク「なぜ？」

ゼルダ「シークもだつて」

リンク「そうだったね」

???「俺も誘われたぜ！リンク！」

リンク「お前はガノンドロフ！」

ガノンドロフ「ふんまたお前とやれるとは久しぶりだな」

???「ふふふふ・・・」

リンク・ガノンドロフ「いつの間になつていたんだ、シーク？」

シーク「面白すぎてマスクで隠しているんだよ。以降じゃないか

この世界の所に！」

シークは急にゼルダに戻った

ゼルダ「じゃあ行きましょう」

リンクたちは馬に乗って行きました。

もうひとつの国

???「ちゃんと行かしてくれるかな？」

???「何しているんだリンク？」

リンク（トウーンリンク）「うわあ、驚いたよ、テトラ！」
テトラ「いや、さっきからこそそしていたからなんだろうと思
ったからな」

トウーン「いやさっきこんな手紙が届いて・・・」

テトラ「なら行けばいいじゃないか！」

トウーン「ありがとう」

トウーンリンクは船で行きました。

スターシップ内部

???「何かしら？いきなりでたこの手紙は？」

10分間後

サムス「ふーん。じゃあ行こうかな」

エンジエランド

???「わっいきなり紙が飛んできた！」

ピット「えーとなになに・・・よしじゃあ行こう！」

どこかの山

???「これ何、ナナ？」

ナナ「手紙でしょ、ポポ」

ポポ「うんそうだけどまあ一様読んでみよう・・・」

ナナ「じゃあ行きましょう」

ポポ「そうだね！」

二人は山を降りて行きました。

研究室

ロボット「エート、コノブンハますたーはんどカラデスネフムフム・
・ハイキマシヨウ」

プププランド

???「ぼよぼよ（ルンルン）」

???「おい、カービィ！」

カービィ「ぼよ、ぼよよ？（なに、メタナイト？）」

メタナイト「お前宛に手紙だ。しかし私にも届いているんだがな」
カービィ「ぼよ・・・ぼよっ！（ふーん・・・よし、行こう！）」

メタナイト「その意気だカービィ！」

???「待てゾイ！」

メタナイト「デデデ陛下もですか！」

デデデ「そうゾイ！我輩も行くゾイ！」

ホコタテ星のホコタテ運送会社

???「オリマー先輩手紙ですよ」

オリマー「ありがとうルーイ君・・・ふーん」

ルーイ「どうしました？先輩？」

オリマー「ちよつと社長に5年の休暇をもらえないか聞いてくる」
ルーイ「5年もそんなに休暇もらえないと思いますよ」

5分後

オリマー「もらえた・・・」

ルーイ「なぜ！？（すげ〜）」

オリマー「知らないよ」

フォックスとウルフとファルコ

フォックス「よし、ん？なんだメールか？誰からだろう？」

ファルコ「おいフォックス、お前のところにもきたのか」

ピコーンピコーン

フォックス「ムッ！」

ファルコ「奴のおでましか・・・」

ウルフ「だーれが奴だつて？ムッなんだ、これは・・・」

フォックス「まさか！」

ファルコ「そのまさかだろうな」

ウルフ「フォックスまさかお前も・・・」
フォックス「ああそうだと」
ウルフ「・・・・・・・・」

とあるレース場

???「うお～～」

???「むお～～」

2つの車がぶつかりあっていた

???「今日こそ負けないぞ、ファルコン！」

ファルコン「ほう勝つ自信があるのか、しかしお前の嫌いなカーブがあるぞ」

???「ぐわ～～」ドカ～～ン

ファルコン「よし勝った！」

???「おいファルコン手紙だぞ」

ファルコン「おおさんきゅうなになに・・・ほうそうか、すまんが俺一時レースができなくなる用事ができたすまん」

???「そうなの？なら仕方ないや」

ファルコン「行ってくるぜ！」

ポケモンギルド

ピカチュウ「へー」

ポツチャマ「どうしたの」

ピカチュウ「ちょっと親方様に聞いてくることができたから聞いてくる」

10分後

ピカチュウ「やったー」

ポツチャマ「どうしたの？」

ピカチュウ「今日から5年間違う世界に行ってくると言ったら・・・

プクリン「行ってきたよ・・・と言われちゃったよ」

ポツチャマ「じゃあなぜ10分かかるのさ？」

ピカチュウ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

ポツチャマ「言えないのか・・・」

ピカチュウ「まあ、僕は行く準備するからね。あっそういえばルカリオとプリンも同じこと言ってたよ」

ポツチャマ「プリンはともかくなぜルカリオ〜〜!?」

ピカチュウ「まあ、目的は同じなんじゃない?まあ、いいやいつてきま〜す」

ポツチャマ「行ってらっしゃい・・・」

マサラタウン

ポケモントレーナー（レッド）「よし、またこいつらを使えるなんて久しぶりだな」

オーキド博士「おおレッド君もう行く準備が出来とるのかね早いので〜」

レッド「あっ博士!はい今日のうちに出発するので」

オーキド博士「そうかいそくかい、では気お付けて行くのだぞ!」

レッド「はいっ、行ってきます!」

アカネイア大陸の城

???「あの・・・マルス?」

マルス「なに?今行く用意しているからそこで用件を言って」

???「何の用意をしていらっしゃるのですか?」

マルス「何かって5年間違う世界の仲間たちと暮らすんだって」

???「そうですか・・・では、行ってらっしゃい・・・」

マルス「うん、行ってくる」

クリミア王国にあるグレイル傭兵団基地

???「よしこれで、いいな」

???「お兄ちゃん何しているの」

アイク「ん?ミストか?」

ミスト「いったい何しているの」

アイク「いや、どうしたらこのラグネルが入るか試していてんだが入らないだから、手で持っていくよ」

ミスト「いったいどこへ行くのよ」

アイク「前俺がいなかった日に行っていたところだ」

ミスト「ふーん、何か食べ物ほしい？遠いんでしょう？おにぎり作ってあげるからまってて」

アイク「分かった」

オネット

???「ママ僕また行きたい場所があるから行っていい？」

お母さん「いつまでいるの、ネス？」

ネス「5年間・・・」

お母さん「5年間！？まあいいわ行つてきなさい」

ネス「ありがとうママ」

ノーウェア島タツマイリ村

???「ねえ父さん行つてきてもいいかな？」

フrint「そうだなあ、ヒナワにでも聞いてみるリュカ」

リュカ「お母さんに聞いてもいいないよ」

フrint「仕方がない、行つてこい」

リュカ「やったーありがとう。あつてもどうしようへビヒモはダスターに返したしな」

フrint「また借りればいいじゃないか」

リュカ「うんそうだね」

平面世界

???「ぴぴぴぴぴ（さっそく行こう）」

即終了！

シャドーモセス島

???「なんだ？いきなり無線が・・・こちらスネークなんだ？」

???「スネーク！マスターハンドから手紙がきてるぞ！」

スネーク「ふむ、そうか、今戻る！」

ソニックたちが住んでいる世界

???「おゝいソニック」

ソニック「Whatなんだい、ティルズ？butいまは忙しいんだ！」

ティルズ「ソニック探したよもうこんなところまでいるし」

ソニック「用がないなら行っちゃうぜ」

ティルズ「なぜ勝手に行くの？」

ソニック「Lookこれを見な」

ティルズ「へゝそうなんだじゃあ行つてらっしゃい」

ソニック「行ってくるぜ！」

その前のみんなは行く準備 プロローグ（後書き）

長すぎた！

大変だ！

この先が思いやられる

マリオ「みんないるか？」（前書き）

また、大量に書くのかそれとも少なく書くかそれだけだ・・・
ルイージ「誰の真似？」

スマッシュ「誰でもない・・・」

マリオ「みんないるか？」

この世界・・・それは、世界中の人気キャラクターが集まる、スマッシュブラザーズの本拠地でもある場所だ。

そこに・・・

マリオ「ヤッホウ！」

ルイーダ「イエー！」

ピーチ「ちよつと待ってよ」

マリオ「遅いですよ」

ルイーダ「もうみんな来ているよ」

マリオ「オーイ、みんな！」

リンク「あつマリオさん」

フォックス「おせーぞ！」

マリオ「超有名人は最後に来るもんだ！」

全員「・・・・・・・・」

マリオ「あつ凍りついちゃった」

???「みんなよくこれだな」

サムス「あつこの声は」

ファルコン「あいつだな」

ネス「うん、あいつだよ」

???「あいつ呼ばわりするなよ！」

リユカ「でっ、僕たちをまた呼んで何するの？マスター？」

マスターハンド「うむ、今日からお前達はスマ村に住んでもらう」

全員「・・・・・・・・・・・・・・・・え〜〜〜〜〜っ」

マスターハンド「スマ村でただ暮らしてもらっただけだが、大家族みたいでいいだろ！」

ルイーダ「まあ、いいんだけど・・・」

マスターハンド「実はここに5人の元ファイターがいるんだが・・・」

「マルス「あれは！」

「???「やあ、マルスさん元気でしたか？ロイです！」

「???「あつピカチュウ！久しぶり、覚えてる？私、ピチューだよ」

「???「ふん！久しぶりだな、現スマツシユブラザーズよ。ミュウツーだ」

「???「あつ！大人の僕！久しぶり！ヤングリンクだよ」

「???「ムッ！昔の俺がちゃんというな元気にしていたか？Dr・マリオだ」

マルス「ロイ・・・」

ピカチュウ「ピチュー・・・」

ルカリオ「ミュウツー・・・」

リンク「わー、これどうとう3人になってしまったよ」

マリオ「よつ、Dr・マリオ！」

マスターハンド「みんな久しぶりだろ！驚いただろ？」

「???「おい、マスター何しているんだ？」

マスター「おつ、クレイジー！」

クレイジー「あつ、久しぶりだな・・・みんなあまり変わってないな・・・」

マリオ「なぜ、スマ村に住まなければいけないんだ？」

マスター「暇だから」

全員「おいっ！」

マスター「まあいい、お前達さつさとスマ村に行け！」

マリオ「はいはい・・・」

マリオ「みんないるか？」（後書き）

やっとテスト終わったぞ！

あとは帰ってくるだけだ！

テスト何点かな？

マリオ「テストのこと気にしているのか・・・」

カービー「作者のことだから点数悪いよ」

スマッシュ「失礼な！今回は案外答えたんだぞ！」

ルイーザ「へへへ」

スマッシュ「なんだよ」（；0；）

そんなわけで大変だ！

到着と家族分け（前書き）

マリオ「やっと家に着くよ」
ルイージ「ほんとうだね」

到着と家族分け

とうとうスマ村へやってこれたファイター達
当たり前のように役場へ行く

役員「わー、こんなに来たら困ります!」

マリオ「住民票ください」

役員「住民票、どうぞ!」

マリオ「ありがとう、えーと・・・」

マリオ家 ファルコン家

オリマー家

スネーク家

マリオ ファルコン

スネーク

オリマー

ルイージ サムス

フォックス

ゲーム&ウォッチ

ピーチ リンク

ファルコ

ロボット

Dr.マリオ ゼルダ

ウルフ

ヨッシー マルス

レッド(ポケモン3

匹)

ワリオ アイク

ピカチュウ

ロイ

ピチュー

シーク

カービィ

ネス

リユカ

ピット

ポポ

ナナ

ヤングリンク

トゥーンリンク

おっさん家

ドンキー家？

メタナイト家

ソニック独り暮らしww

ガノンドロフ

ドンキー

メタナイト

クッパ

ディディー

ミュウツー

デデデ

ルカリオ

・・・だってファルコンのところ多いな・・・それにソニック（笑）
ソニック「What どうしたんだい？」

ソニックはメモを見て

ソニック「NO」

マリオ「では、各自の家へゴー！」

ソニック以外「おーー！」

ファルコン「ファルコン家の子供たちよくぞ！」

ファルコン家子供「お~~~~~！」

ファルコン家青年「おー」

次回、家の搜索

到着と家族分け（後書き）

ファルコン「本当に多いんじゃないか？」
スマッシュ「ああ、そうだね・・・」

それぞれの家にどんな暮らしをしていくかを訪問（前書き）

マリオ「みんなの家を作者が訪問するだ！？」

スマッシュ「うん、そうだよ。無理やりお邪魔させてもらっけど」

ルイーダ「まあ、いいんじゃない？兄さん」

それぞれの家にどんな暮らしをしていくかを訪問

1件目マリオ家

スマッシュ「邪魔するで〜」

マリオ「邪魔すんなら帰って〜」

スマッシュ「あいよ〜・・・って、おい！」

ルイーダ「いや、自分から言ってきたじゃないか！」

マリオ「んで、訪問しにきたのだな!？」

スマッシュ「これからみんながどんな生活をしていくのが楽しみでね」

ルイーダ「じゃあ上がってよ!ピーチ姫を呼ぶから！」

スマッシュ「うん」

マリオ「ヨッシーはその辺にいるけどワリオがどっか行きやがった」
スマッシュ「そうか・・・じゃあ、会ったらボコボコにしてあげるよ！」

マリオ（こわ〜）「うん、そうしてね・・・」

ピーチ「おまちど〜お菓子よ」

スマッシュ「どうもありがとう。まだ1日しかたってないけど今の暮らしどう？」

マリオ「案外この村は暮らしやすいね」

スマッシュ「ルイーダは？」

ルイーダ「この村は他に人はあまりいないけど案外楽しいよ！」

スマッシュ「そうですか・・・じゃあピーチは？」

ピーチ「あら、案外この村おもしろいですよ」

スマッシュ「そうですか!では、次に行くのでここで・・・」

マリオ「待てよ!部屋見ていけないのか？」

スマッシュ「それだと書くの疲れるからね」

ルイーダ「どういうこと？」

スマッシュ「いや、こっちのこと」

ピーチ「次ファルコン家に行くならお土産持って行ったら？作ってあげるから」

スマッシュ「ありがとうございます！」

2件目ファルコン家

ピーンポーン

サムス「ハーン」

がちゃ

スマッシュ「こんにちわ！」

ファルコン「はっはっは来たな、若者よ！」

スマッシュ「はい、家庭訪問みたいなもので来ました、それとお土産です。中に入れてくれませんか？」

ファルコン「どうぞどうぞ！はいってはいって！」

スマッシュ「お邪魔します」

サムス「お茶とさっきのお土産のお菓子よー」

アイク・リンク・シーク・ゼルダ・ネス・リユカ「ハーン……」

ロイ・マルス・ポポ・ナナ・カービィ・トゥーン・ヤンリン「わー

い！お菓子だー」

ばくばくばくばくばくばく

スマッシュ「やっぱり少なかったかな？まあいいや、どうですか？今の暮らしは？」

ファルコン「代表として言おう。思いつきり愉快だぞ！はっはっは！」

スマッシュ「そうですね！他に役割とか決めているのですか？」

サムス「そうですね……。シークとリンクとゼルダは特に決めています。他はないですね」

シーク・リンク・ゼルダ以外全員（アイク昼寝中）（笑）「えっ！？」

スマッシュ「どんな役割ですか？」

サムス「シークは料理以外のことをリンクとゼルダは料理と一緒に

作ってもらいます。特にリンクはお菓子を作ったりしますよ。」

スマッシュ「そうですか！一回食べてみたいですね！」

リンク「どうも、ありがとう。ついでに、これ食べてください！」

スマッシュ「なんだい、これは？」

リンク「それは、いちごタルトです。一生懸命作りました！」

パクッ

スマッシュ「うまい！」

リンク「ありがとうございます！」

スマッシュ「ついでに僕も料理ぐらいできますよ」

リンク・アイク・シーク・ゼルダ・ネス・リユカ・ファルコン・サムス以外「すごい！」

わいわいわいわいわいわいわいわいわ

（書くの面倒くさいな、この家・・・）

スマッシュ「では、ありがとうございました」

3件目おっさん家

スマッシュ「ついに来てしまった・・・ここが加齢臭がぷんぷんする場所だ・・・」

クッパ・デデ・ガノン「誰が加齢臭だ！」

スマッシュ「ちゃんと換気してくれよな！家ぼろくなっちゃうだろ！」

クッパ「だってよ、デデデが「虫は嫌いゾイ！」って言うからだ！」

デデデ「何だゾイ？悪口を言ってるゾイか？」

スマッシュ（早くこんなところから出たい・・・）「で、今の住み心地は？」

ガノン「まあ、いいところだ！」

スマッシュ「そうですか、では、さよなら！」

4件目スネーク家

スマッシュ「やっと、おっさん達から抜け出せた・・・今度はスネ

「ク家です」

ガラッ！

スマッシュ「邪魔するぞ！」

スネーク「きたか！」

フォックス「ギャグにのれよ！この馬鹿親父！」

スマッシュ「あの……」

ファルコ「いつもの事さ、こっちに来な……」

レッド「あつ、来ましたね！いま、おやつの用意をしていたんです！」

ピカチュウ「そうだよ！僕とピチューはレッドの手伝い！」

ピチュー「うん！」

スマッシュ「そうか、手伝い頑張れよ！ところでウルフは？」

ファルコ「向こうにいるぜ！何してるかはわからないけどな！」

スマッシュ「ふーん」

フォックス「行かないほうが身のためだぜ！」

スマッシュ「なぜ？」

フォックス「危ない物が飛んでくるからさ」

スマッシュ「……」

レッド「用意できましたよ！」

スマッシュ「これはすごいな」

レッド「りんごを使ったお菓子です食べてください！」

スマッシュ「いただきまーす」

もぐもぐ

スマッシュ「うまいよ！」

レッド「どうもありがとう！」

スマッシュ「ところで聞くけど今の暮らしどう思う？」

スネーク「家族代表で言うぞ！楽しいそれだけだ！」

フォックス「本当にそれだけかこのやろう！」

スマッシュ「彼ら仲がいいんですね……」

ファルコ「いつもケンカしているぜ……」

レッド「……………」

スマッシュ「どうもありがとうございました！」

5件目オリマー家

スマッシュ「続いてオリマー家です。中はどうなっているのでしょうか？」

ウィーン

オリマー「いらっしやいませー、あつ！」

ゲムラ「アツ、キタノデスネすまっしゅサン」

ロボット「奥二行ツテオイテクダサイ。後デ行クノデ」

……

オリマー「おまちどうさまです！」

スマッシュ「わー！ー！すごい！」

ロボット「けーきヲ持ツテキマシタ、ドウゾ好きナけーきヲ取ツテ下サイ」

スマッシュ「チーズケーキにするよ！」

ゲムラ「ワカリマシタ。ドウゾ」

スマッシュ「ありがとう！」

オリマー「ついでに紅茶を入れてきました」

スマッシュ「どうも。ところで今の住み心地はどうですか？」

オリマー「私たちはここに住めたおかげでケーキ屋まで作ってしまいました。楽しいです！」

スマッシュ「わかりました」パクッ

スマッシュ「じゃあね！」

道端

スマッシュ「ムッ！ワリオがいた！よし！ボコボコにしよう！」

ワリオ「うへゝ暇だゝ」

スッ！ガシッ！

ワリオ「なんだゝ？」

スマッシュ「ちょっとごめんね」
ボカッ！ドカッ！バキッ！ボキッ！
ワリオ「ぎゃーーーーーーー」
スマッシュ「ふーっ！おっさん家に行ったときのストレスが発散できたよ。さてこいつどうしよう……まあ、とりあえずマリオ家に届けるか！」

マリオ家 本日二回目

スマッシュ「よし来た！」

ピンポン

マリオ「誰だ？」

スマッシュ「スマッシュです」
ガチャッ

マリオ「よう！スマッシュ……わっ！ワリオが、驚いたー」（本当にボコボコにしてる）

スマッシュ「どうぞこれおみやげです」

マリオ「お土産って、これか？」

スマッシュ「そうだよ？どうしたの？」

マリオ「いいや何もないけど、ありがとう」

それぞれの家にどんな暮らしをしていくかを訪問（後書き）

スマッシュ「言っとくけど次回から後書きをスマッシュブラザーズ
の日記にするから1人ずつ書いてくれよ！」

全員「えーーーーー！」

と、いうことで次回から順番に日記を書いていきます！

作者家！（前書き）

マリオ「作者たちがこのスマ村へ住みつくそうだ」

全員「え〜〜〜〜」

作者達「うるさい！」

作者家！

スマッシュ「ちよつとごめんよ」

役所の人「ちよつと！」

スマッシュ「この村にいるスマッシュブラザーズ！ただちに役場まで来い！」

1
分後
・
・
・

マリオ「なんだ？スマッシュ？」

スマッシュ「今日から作者達がここに住むぞ！」

全員「
・
・
・
・
・
・
」

しばらく沈黙……

全員「えー！ー！ー！ー！ー！ー！」

2分後

スマッシュ「さっそく来たな、おい！」

「……?」

「ああ？」

「やっ、と、ここに來たよ」

「でも、タクシー5台は……」

「ま、いいんじゃない？」

「疲れたな」

「あつ！みんなだ、おい！」

「みんな、遅刻もせず早いね」

「男ばっか……」

「早く家行きたい……」

スマッシュ「みんな、来てるね！これから作者家すなわち作者の家にいるからね。まあ、名前を覚えてくれ！」

しら「僕はしらよろしくね！ついでに僕は『スマブラ〇〇中』を書

「いってるよ！」

ryouki「僕の名前はryoukiだよ。僕は『スブラメン
バーの新しい家?』を書いてます」

「パルポン、俺はパルポンだ。俺は『テイズル』の話を書いているよ」
「ほーき雲、僕はほーき雲です！僕が書いてる小説は『スマブラ』な
どを書いています」

ギルバート「俺はギルバード・デュランダルと言う名前です。書いてるのは『俺キャラ×スマブラ×作者さんオールスターズ 逃走中』を書いてるぜ！」

夢幻[∞]「俺の名前は夢幻[∞]だ！今書いてる小説は『スマッシュハンターブラザーズ』だ！」

死神魔姫「俺は死神魔姫だよ。俺は『大乱逃走中』を書いてるからな！」

瑞希 優羅「私は瑞希 優羅です。書いてる小説は『スマブラで逃走中やっちゃうよー』を書いてます!」

ゆうたん「ぼくはゆうたんだよ。小説は『スマブラX・ぷよぷよ7で逃走中』を書いてるよ」

スマッシュ「以上これから作者家に住む人達だよ！」

「ファルコン」スマッシュの作った作者の家……小さかったよな？」

スマツシュ「僕が頑張つて借金を払つたんだよ！だから今は学校の校舎と同じくらいだよ」

全員「えっ!？」

マリオ「いつの間に!？」

スマッシュ「まあ、見てなくても仕方がないよ。夜の間に借金返してたから」

リンク「でも、4日でそれは早すぎではないですか？」

スマッシュ「僕の小さい１０００００００００ベルだからね」

全員達「えーーーーー!」

作者「凄すぎる！」

マリオ「どんだけ貰ってるんだー!」

スマツシュ「でも今貯金してるからね。家にあつたら狭くなるよ」
ルイージ「そうだね」

スマツシュ「じゃあ作者さん達以外解散！」

スマツシュ「じゃあ、家に行こう！」

作者達「そうだね・・・」(金すごいな・・・)

次回、作者家の中！

作家家！（後書き）

今日、僕のかけてる眼鏡が崩壊したよ・・・

マリオ「何してそうなたんだよ！」

スマッシュ「拭くもので拭いたら壊れた・・・」

マリオ「だから眼鏡変わってるんだな！」

スマッシュ「そうだよ」

作者家の中（前書き）

すみません・・・竜斗さん書くの忘れてました！
日記忘れていた・・・今回から書かせる！

作者家の中

スマツシュ「着いたよ！」

作者達「ここか！」

見たところ案外すごい豪邸になっていた

スマツシュ「頑張ったんだぞ！」

作者達「いや、頑張つてないだろ！」

スマツシュ「まあ、そんなことはいいや、入って入って！」

中

しら「すごい広いですね！」

ryouki「そうですね、思ったより広いよ」

パルポン「ここに持つてるもの置いていいか？」

スマツシュ「置いていいよ！もう、僕達の家なんだから」

竜斗「部屋はいくつあるんですか？」

スマツシュ「ざっと20部屋ぐらいかな？」

ギルバート「多！」

死神魔姫「これからここで暮らすんですね！」

夢幻∞「じゃあスマブラの人たちの所へも遊びに行ってもいいのか

な？」

スマツシュ「遊びに行ってもいいですよ！」

ほーき雲「わーいわーい！」

ゆうたん「でもどうするの？」

スマツシュ「とにかく解散！」

ゆうたん「僕はこの家に残るよ」

瑞希 優羅「私は今、店に行って買い物してくる・・・」

スマツシュ「これカタログ」

瑞希 優羅「ありがとう」

しら「じゃあ、服買おう！」

ryouki「僕も買っよう！」
スマッシュ「僕も買おうかな？」

店

瑞希 優羅「これとこれとこれください！」
店員「はい、わかりました！」

服屋

スマッシュ「この帽子欲しい！買おう！」
店員「ありがとうございます！」
しら「みんなの服買わないとね！」
ryouki「じゃあ全部」
しら・スマッシュ・店員「えっ!？」

店の外

しら・スマッシュ「重いよ」
ryouki「ごめん・・・」

家

ゆうたん「わっ！よく、こんなに買ってきましたね！」
ryouki「まあね」
しら・スマッシュ「・・・」
瑞希 優羅「ただいま」
4人「お帰り！」
スマッシュ「何を店に買いに行ったの？」
瑞希 優羅「家具を大量予約してきたの。これメモ」

メモ

請求書

ベット10個	198000ベル
机(大)3個 (小)5個	596000ベル

椅子20個	100000ベル
クローゼット10個	99000ベル
ランプ20個	50000ベル
絵20個	1000000ベル
冷蔵庫1個	3980ベル
キッチン1個	6980ベル
コップ10個	10000ベル
皿30枚	19800ベル
なべ5個	5000ベル
フライパン2個	2960ベル
はにわ10個	13000ベル
化石10体	100000ベル
落とし穴の種100000個	1000000ベル
その他30種類	100001768320ベル
服代(帽子も)	10000000000ベル

4人「おもいつきり書いてるな・・・」
 しら(しかも、はにわ)

ryouki(おっ落とし穴の種100000個・・・しかも1
 個1ベル・・・)

ゆうたん(買いすぎだよ・・・)
 スマッシュ(あと、979998231680ベルか・・・まだま
 だあるね！)

瑞希 優羅「買いすぎたかな？」

4人「あははははは(焦)」

作者家の中（後書き）

今日の日記 書いた人 マリオ

今日服屋行ったら服が全て売切れになっていた・・・

届く、家具やいろんな物

ピンポン

「????」お届け物です!」

ゆうたん「何?」

瑞希 優羅「来た来た」

宅配便「御注文の品を届けに来ました!」

瑞希 優羅「そこに置いて後はこの人たちに運んでもらうから!」

みんな「え~~~~!」

宅配便「わかりました!では!」

スマッシュ「さ、さっそく運ぼう・・・」

しら「うん・・・そうだね・・・」

ryouki「重!」

竜斗「いっぱい入ってるね・・・」

ほーき雲「これを2階に運ぶの」

瑞希 優羅「そうだよ」

みんな「・・・・・・」

2時間後・・・

ギルバート「やっと、終わったー!」

夢幻∞「疲れたー!」

死神魔姫「そうだね!」

パルポン「どんだけあるんだー!」

スマッシュ「終わったからお金あげるよ」

みんなは100万ベルもらった。

みんな「ありがとう」

残り貯金99788231680ベル

死神魔姫「でも、埴輪って必要なものかな？」

しら「そうだね・・・」

ギルバート「服もかなりあるね」

スマッシュ「じゃ、欲しい服、1人10枚、持っていていいよ」
服の数110枚

ryouki「これとこれとこの服がいい」

ほーき雲「それとって！」

夢幻∞「ほれ！」

ほーき雲「ありがとう」

ゆうたん「僕が欲しいんだ！」

パルポン「いや俺のだ！」

瑞希 優羅「みんなけんかしないで取ってね！」

30分後

スマッシュ「よし、分けられたね」

ギルバート「なぜ、お前だけ帽子買ってるんだよ！」

スマッシュ「自分で買ったんだよ！」

竜斗「じゃ自分の部屋へ行こうよ！」

死神魔姫「そうだな、部屋行って家具を置くよ！」

スマッシュ「だから、部屋へ解散！」

届く、家具やいろんな物（後書き）

今日の日記 書いた人 ルイージ

今日、僕が料理作ったのに失敗料理が出来てしまった
間違えた！スペシャル料理を作ろうとしてたのに！

作者軍、遊びに行くぞー！ 作者達「おー！」

スマッシュ「今日、違う人の家に遊びに行こう！」

しら「楽しそうですね！」

ryouki「そうですね」

ギルバート「じゃ行くぞー！」

作者達「おー！」

スマッシュ「ところで誰の家行くの？」

作者達「あ……」

ギルバート「誰の家に行こうか……俺はファルコン家！」

パルポン「マリオ家！」

しら「マリオ家！」

ryouki「ファルコン家！」

瑞希 優羅「ファルコン家！」

夢幻∞「どっちでも！」

ゆうたん「オリマーの家にいきたい！」

ほーき雲「ファルコン家！」

死神魔姫「うーん……オリマー家」

スマッシュ「僕はファルコン家！だからファルコン家に突撃するぞ

ー！」

作者達「おー……！」

ファルコン家前

ピーンポーン♪

サムス「はーい！」がちゃ！

スマッシュ「遊びに来ました！」

サムス「入って……多いね……」

ギルバート「じゃまするよ！」

しら「すみませんね……」

中

ファルコン「なんだ？遊びにきたのか？歓迎するぞ！」

作者達「そこまで歓迎しなくても・・・」

マルス「遊びに来たの？なら、2階でゲームしようよ！」

ryouki「そうか！しよう！」

2階

ギルバート「何のカセット持ってるんだ？」

アイク「大体全部かな・・・？」

リンク「まあ、ほとんどある、つというわけですよ」

しら「これしよう！『スマブラX』！」

ロイ「僕が出ていないゲーム・・・」

マルス「あのね・・・ロイにはこれは禁句だよ・・・」

しら「そうなの！ごめんね」

ロイ「いいよ・・・」

ゼルダ「このほうがいいんじゃないの？」

そうゼルダが取り出したのは『3DS マリオカート7』を渡した

マルス「これ3DS無いと駄目だよみんな！3DSとカセットある

？」

スマッシュ「あるよ！8個！」

アイク「丁度あるのか・・・」

リンク「さつそくやりましょう！」

ryouki「でも、人数分無いですよ・・・」

ギルバート「ルールを言う！ルールは5位から8位になった人は次

の人と交代する！」

みんな「おお！」

スマッシュ「じゃさつそくやろう！」

スマッシュ「僕、マリオ！」

リンク「ルイージさん」

ロイ「ヨッシー！」

ギルバード「クッパ！」

ryouki「じゃ、ドンキー！」

しら「僕はヘイホー！」

ゆうたん「メタルマリオにしよう！」

瑞希 優羅「ピーチ！」

ゲームにて

3・2・1・GO！

スマッシュ「スタートダッシュだー！」

リンク「速！」

ロイ「僕もスタートダッシュ！」

ギルバード「負けるかー！」

ryouki「すばやいな！」

しら「アイテムゲット！やったー！ラッキーゲットだ！」

ゆうたん「ええ！？」

しら「いけ！ゲッソー！」

瑞希 優羅「前が見えないよー！」

スマッシュ「ジャンプ台だー！それ！」

ギルバード「オリヤ！」

現在順位

1位 スマッシュ

2位 ギルバード

3位 しら

4位 ロイ

5位 ryouki

6位 リンク

7位 ゆうたん

8位 瑞希 優羅

瑞希 優羅「サンダー！」ドカーン！
みんな「ぎゃー！」

ゆうたん「お先！」

ゆうたんはスターを使っていた

スマッシュ「来たか！？」

ギルバート「逃がすかー！赤コウラ！」

スマッシュ「きくかー！バナナ！」

アイク「二人すごいデッドヒートだな・・・」

スマッシュ・ギルバート「うおー！」

ゴール！

順位

1位スマッシュ

2位ギルバート

3位ゆうたん

4位瑞希 優羅

5位ロイ

6位しら

7位ryouki

8位リンク

ギルバート「惜しい！残り差0.1秒！」
スマッシュ「ほんとすごいですね！」

作者軍、遊びに行くぞー！ 作者達「おー！」（後書き）

今日の日記 書いた人 マルス

今日、家に作者達が来た！

今回は、『マリオカート7』をしてスマッシュさんとギルバートさんがデッドヒートになっていました！

作者軍、遊びに行くぞー！作者達「おー！」 p1 a t 2 (前書き)

リンク「今からお菓子を作ってきます」

ゆうたん「僕も作るよ！」

作者軍、遊びに行くぞー！作者達「おー！」plat2

スマッシュ「さて、『星のカービィ Wii』をしよう！」

カービィ「僕の出てるゲームだ！」

ギルバート「俺はメタ様だ！」

スマッシュ「じゃあ、カービィにしよう」

マルス「僕は、デデデで」

ロイ「僕は、ワドルディ！」

スマッシュ「格闘王をしよう！」

スマッシュ「どのコピーにしようかな？よし！ハンマーだ！」

ギルバート「最初は中ボスバトルか！」

スマッシュ「普通の中ボス以外のボスは体力が多いんだって！」

ロイ「そうだったの！？」

マルス「知らなかった・・・」

ギルバート「よし！やるぞー！」

5分後

スマッシュ「ラスボスまで来たぞー！」

みんな「早すぎる・・・」

ロイ「さすがにマホロア倒すの大変だよ！」

スマッシュ「大丈夫！みんな！今ってカービィに出来たっけ？」

マルス「チート使ってるからできるけど・・・」

スマッシュ（チート使ってるんかい！）「じゃあ、カービィにして
！」

ギルバート「メタ様は駄目なのか？」

スマッシュ「コピー能力だからね」

ギルバート「ところでどっちのコピーなんだ？」

スマッシュ「全員ボムを取って」

ロイ「取った」

マルス「取ったよ」

ギルバート「取ったぞ！」

スマッシュ「じゃあ、入ろう！」

スマッシュ「マホロアに大量の爆弾を投げつけるー！」

ロイ「そういうことか！」

マルス「マホロアの通常攻撃を防いでるんだね！」

ギルバート「それとダメージもでかいし！」

スマッシュ「これなら早いだろ？」

1分後

スマッシュ「マホロア撃破！」

ロイ「こんなに速く終わるなんて・・・」

マルス「チートのせいじゃない？」

リンク「お待たせしました！」

ゆうたん「お菓子できたよ！」

アイク「そうか・・・ぐう、ぐう」

みんな「寝た・・・」

スマッシュ「おいしい！」

ギルバート「うま！」

みんな「あっ！勝手に食べてる！」

スマッシュ「ギルバートさんもう一回マリカ7しよう！」

ギルバート「そうだな！コースはウーファイランド2！キラリ！」

スマッシュ「そうだよね！キラリ！」

シーク「ロイあの二人何してるの？」

ロイ「マリオカート7だって今から2人だけでするって

シーク「そうか・・・」

3・2・1・GO！

スマッシュ マリオ

ギルバート クッパ

スマッシュ「そこだ！」

ギルバート「ここだ！」

2人「ムッ！」

リンク「映像で見てみましょう！」

マリオとクッパが接戦しています

マリオとクッパが水のあるほうへ向き水の中へ飛び込んだ
すると、出てくる位置は2ラップ目のゴール近くにでる

スマッシュ「これを知ってたのか！」

ギルバート「そっちもか！」

スマッシュ「仕方ないって先行かれた！」

ギルバート「お先！」

スマッシュ「あっ！キラーだ！」

ギルバート「なに！？」

きゅーん

ギルバート「グハッ！」

スマッシュ「1位だ！」

ギルバート「させないぞ！サンダー！」

ドカーン！

スマッシュ「うわっ！」

ギルバート「オリヤオリヤ！」

スマッシュ「あと少しだ！」

ゴール・・・・・・・・

引き分け！

みんな「エーーーーッ！」

スマッシュ「こんな奇跡ってあるんだね・・・」

ギルバート「そうだな・・・」

作者軍、遊びに行くぞー！作者達「おー！」 plat2（後書き）

今日の日記 plat2 ロイ

今日は本当に疲れる・・・

皆既月食見るぞー！（前書き）

マルス「本当は昨日に書きかたつたんだよね？」
スマッシュ「そうだよ」

皆既月食見るぞー！

スマッシュ「はい、ちよつとごめんね」

役所の人「あつ！また！」

スマッシュ「おい！今から月を見るぞ！」

マリオ「なんだよ！よびだして！」

スマッシュ「今日は皆既月食になる日だよ！」

ルイーダ「そういえばニュースで聞いたよ！」

マルス「僕達はまだ皆既月食なんて見たこと無いね」

アイク「前回の月食は・・・１１年前・・・」

ロイ「そうだよ」

ソニック「やつと、小説に出て来れたぜ！」

リンク「何言ってるんですか？」

ソニック「１人暮らして出て来れなかったんだぜ！」

リンク「そうですか」

スマッシュ「あと、１時間で皆既月食になるぞ！」

ゆうたん「暇だからケーキでも作ってこよう」

リンク「じゃあ、私も！」

ゼルダ「作りますよー！」

ピーチ「私も、私も！」

ルイーダ「僕はスペシャル料理を作るの再開しようかな？」

マリオ「いつも失敗料理が出来てるからな・・・」

ルイーダ「兄さん！それを、言わないでー！」

スマッシュ「ほー・・・、手伝ってあげるよー！」

ルイーダ「ありがとう！」

マリオ「なぜだ？」

スマッシュ「本当は僕の夢は料理人だからね！」

マリオ「納得した」

皆既月食まで残り10分

マリオ「本当だな月が欠けてきたぞ！」

ルイーダ「本当だね！料理できたよ！」

スマッシュ「僕のおかげだね！」

リンク「こつちも出来ました！」

ゆうたん「ケーキ100種類です」（あるのか？100種類？）

ピーチ「頑張ったのよ！」

ゼルダ「特にショートケーキがね・・・」

残り1分

スマッシュ「カウントダウンしよう！」

30秒

みんな「29・28・27・26・25・24・23・22・21・
20・19・18・17・16・15・14・13・12・11・
10・9・8・7・6・5・4・3・2・1・今だ！」

皆既月食になった！

マリオ「1時間あの状態なんだな！」

スマッシュ「そうだよ！作者は本物の皆既月食を見ているよ！」

ワリオ（おなら野郎）「うまいうまい！・・・っておい！なんで俺

がおなら野郎なんだよ！」

スマッシュ「うるさい！いつもおなら出してるじゃないか！」

リンク「まあまあ・・・」

スマッシュ「ところでなんで赤かわかるか？」

ロイ「知ってるよ！地球の影で月が陰っているんだね！」

スマッシュ「そうだよ」

マルス「ヘー・・・、ロイ、物知りだね！」

ロイ「へへへ・・・」

スマッシュ「さて、ケーキでも食べよう！あっそうだ！割尾はお預けね！」

割尾「なぜじゃー！しかも割尾って書くなー！」
みんな「ははははははは！」

皆既月食見るぞー！（後書き）

今日の日記 書いた人 リンク
今日、皆既月食がおこった！
あんなのはじめてみました！

クリスマスしよう！（前書き）

マリオ「ちょっと早いけどクリスマスパーティーをするぞー！」

クリスマスしよう！

ピンポンパンポン♪

スマッシュ「えーーーーーと、何言おうとしたかな？」

みんな「おい！」

スマッシュ「思い出した！みんな、広場にまた来い！」

みんな「またかよ！」

数分後

マリオ「なんだよ！」

スマッシュ「今回もいきなりだけどクリスマスパーティーをしよう！」

ルイーダ「今度はクリスマスか・・・」

リンク「料理を作ればいいんですね！」

スマッシュ「よくわかったな！」

リンク「パーティーのときはわかります！」

スマッシュ「その前にツリーになる木を探さないとね！出来るだけ

大きいのを探して来い！ワリオ！」

ワリオ「なぜ、俺だけ！」

スマッシュ「五月蠅い！また、名前変えるぞ！ワガ尾！」

ワガ尾「やめてくれ・・・わかった・・・行ってくる・・・」

スマッシュ「これで、木は何とかなるだろ」

しら「料理担当はどうしましょう？」

スマッシュ「ここは、料理が出来る人じゃないとね！ルイーダ、ピ

ーチ、リンク、ゼルダ、サムス、

メタナイト、オリマー、ピカチュウ、レッド、ピチュー、ゆうたん、

スマッシュだ！」

ryouki「他の人は？」

スマッシュ「木に飾り付けやその他いろいろ・・・」

ryouki「わかりました！」

2時間後

プルルルル

スマッシュ「ワリオからだ！」ピッ！「なんだ？」

ワリオ「全長100メートルの木を見つけたぜ！人数を20人連れてきてくれ！」

スマッシュ「わかった！今、言うから場所教えてくれ！」

ワリオ「どこかの洋館の前！」

スマッシュ「わかった！出来るだけ力持ちのヤツベスト20人を送ってやる！ついでだけどワリオ！見つけたお前も運んで来いよ！」

その、1時間後

ワリオ「持って来たぜ！」

20人「ヒーヒー！」

スマッシュ「お前・・・運ばなかったのか・・・」

ワリオ「そうだぞ！」

スマッシュ「・・・リンク・・・ボムヘイを持ってないか？」

リンク「ありますよ？」

スマッシュ「ワリオ・・・自分で見つけて仲間と協力しながら運んでこいと言ったぞ・・・」

ワリオ「ヘッ？」

スマッシュ「なぜ、運んでこなかったんじゃないー！」ポイツ！ボカーン！

ワリオ「グヘー！ー！」

5時間後・・・

スマッシュ「料理終わった！」

ゆうたん「ケーキも作りました！」

マリオ「こつちも飾りつけなど終わらせたぜ！」

クッパ「我輩は大変だったのだ！」

ワリオ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

ロイ「あれなんですか？」

マルス「何だろうね・・・ははははは」

アイク「眠いが・・・頑張ったぞ・・・」

スマッシュ「肉があるからっていったじゃん！」

アイク「そのために頑張ったのか」

ガノンドロフ「復活したぞ！」

ギルバート「司会は、俺とメタ様にやらせてもらっぜ！」

メタナイト「では、乾杯」

みんな「乾杯！」

スマッシュ「ワリオはこの骨ね！」

ワリオ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

リンク「疲れたのでしょうか？寝てますね」

アイク「がつがつがつがつ・・・・・・」

カービィ「バクバクバクバクバク・・・・」

ヨッシー「ゴクンゴクンゴクンゴクン・・・・」

マリオ「3人ともゆっくり食べなよ・・・・」

アイク「うっ！」

マリオ「どうしんだ！？」

アイク「うますぎる・・・・」

みんな「・・・・・・・・」

ワリオ「みんなが気をそらしてる間に・・・」

リンク「！、みなさん！ワリオが復活してますよ！」

ワリオ「やばい！早く料理を取って逃げないと！」

スマッシュ「待てー！ー！お前はお預けと言っただろ！」

ワリオ「捕まえないんなら捕まえてみる！」

クリスマスしよう！（後書き）

今日の日記 書いた人 アイク

今日の料理に出た肉はかなりおいしい

z・・・z・・・z z z・・・

クリスマスはまだまだ、続くよ！（前書き）

マリオ「今度はプレゼント交換だ！」

クリスマスはまだまだ、続くよ！

マリオ「プレゼント交換をするぞー！！」

ルイージ「これは今日のお楽しみじゃないだろー！」

マリオ「なんてことするんだよー！」

ルイージ「その楽しみは明日にしまっとけばいいんだよ！」

マリオ「なるほど！」

ギルバート「では、あらためてミニゲームをするぞー！」

メタナイト「このミニゲームはマリオパーティ2・5・6・7・8・

DSのミニゲームをするぞー！」

マリオ「マリオキャラのやつらには簡単じゃないか！」

ギルバート「そのところは心配ない！自分のからだを使ってミニゲームを実感するんだぜ！」

メタナイト「意外と危険だが楽しいように改造させた」

マリオ「じゃあやるぞー！」

クッパ「我輩は出演はあったがミニゲームは出たことがなかったな」

しら「なんかたのしそうですね！」

ryouki「でも、まけませんよ！」

ゆうたん「僕は出ないよ・・・怖いからね・・・」

リュカ「僕も・・・」

ネス「大丈夫だとは思っただけだね・・・」

リンク「私は大丈夫です！攻撃などみんな当たってましたからね！」

ガノンドロフ「ふふふふ、俺様もでるぜ！」

割尾「がっはっはっは！俺様のパワフルの力を見せてやるぜ！・・・

割尾「って書くなー！」

スマッシュ「暴れさせないためにロープで縛っておこう」

ギルバート「わかった・・・」

割尾「やめてくれ・・・」

ギルバート「よくもメタ様にあげるケーキを横取りしたな・・・」

割尾「ギャーーーーー!!」

ギルバート「おとなしくしろ!!」

スマッシュ「これからやるから出たいやつでてきて!!」

出たい人（作者合わせて）

32人

マリオ・ルイージ・ピーチ・クッパ・ドンキー・デイドー・ヨッシー・リンク・シーク・ガノンドルフ・トゥーンリンク・ピット・ロボット・カービィ・メタナイト・オリマー・フォックス・ファルコ・ファルコン・ピカチュウ・ルカリオ・マルス・アイク・ロイ・ネス・スネーク・ソニック・しら・

ryouki・ギルバート・死神魔姫・スマッシュ

スマッシュ「決まったよ!今からトーナメント組むから抽選箱から1枚紙を取ってよ!!」

クリスマスはまだまだ、続くよ！（後書き）

今日の日記 書いた人 ピーチ

今回の私は違う！

優勝をもらっわよ！

マリオパーティ、ミニゲーム大会！

マリオ「よし！トーナメントをたてよう！」

スマッシュ「出る人は前回の話で書いています！勝者は2人だよ！決勝戦だけは1人だけだから」（他に出たかった人はすみませんでした！）

リンク「早くトーナメントの結果が知りたいです！」

ゼルダ「こうなったよ！」

初戦

1回戦目			
ルイーダ	マルス	シーク	ryouki
2回戦目			
ピーチ	ネス	ギルバート	アイク
3回戦目			
クッパ	ドンキー	ガノンドロフ	ロイ
4回戦目			
リンク	ヨッシー	ファルコ	ピカチュウ
5回戦目			
ピット	カービィ	オリマー	ファルコン
6回戦目			
デューン	トゥーン	ロボット	死神魔姫
7回戦目			
マリオ	ルカリオ	スネーク	しら
8回戦目			
メタナイト	フォックス	ソニック	スマッシュ

スマッシュ「こうなったよ！」

ルイーダ「いきなり僕のところからか・・・」

スマッシュ「言っとくけど1回戦ごとにつき5試合だよ！」

マリオ「じゃあ、早くやってよ・・・」
スマッシュ「わかったけどそれは次の回で！」

マリオパーティ、ミニゲーム大会！（後書き）

今日の日記 書いた人 ソニック
やっと出られたぜ！

このミニゲーム大会はいただきだぜ！

第1回戦！

ゆうたん「じゃあ、僕が実況するよ！」

ゼルダ「私もです！」

ゆうたん「ではルール説明！」

ミニゲームの種類は約150種類以上でマリオパーティの2・5・6・7・8・DSのミニゲームをして勝った回数が多い上位2名が上に進めるよ！負ければ下に落ち他の負けたグループと対戦だよ！」
ゼルダ「それと

バトルのなりかたはVS4、1VS3、2VS2、デエルバトル、バトルがあるよ！なお、デエルバトルは1VS1だから2つに分かれて戦ってもらうよ！」

ゆうたん「では、第1回戦目！出場者は・・・

ルイージ マルス シーク ryoukiさん だよ！」

ゼルダ「では、ミニゲームルーレットスタート！」

ピピピピピピピッピッピッピッピッピッ！

ゆうたん「最初のミニゲームはマリオパーティ2にてプカプカアイランドだよ！」

ルイージ「これは簡単なミニゲームだね！」

ryouki「頑張りますよ！」

マルス「それほど簡単なら安心だね！」

シーク「裏がありそうだが・・・」

ゆうたん「準備出来たかな？ではスタート！」

ミニゲーム プカプカアイランドスタート！

ルイージ「いきなりキラーからか・・・危ない危ない・・・」

シーク「ムッ！こつちに飛んできた！」

ryouki「わっ！ジャンプしないと！」

マルス「こんなもの避けちゃうよ！」

20秒後・・・

マルス「わーーーーっ！」

マルスアウト！

シーク「やばいな・・・」

ryouki「ん？なんかクツパの戦艦がおかしいな・・・」

ルイーダ「まさか！？」

ドキューーーーン

ルイーダ「やつぱり」

シーク「避け切れん・・・」ボチャン！

シークアウト

ルイーダ「ジャンプして避けないと・・・」

ryouki「タイミングはかってジャンプ！」

ボツカーーーン！

ルイーダ・ryouki WIN！

ゆうたん「さっきの勝者はルイーダとryoukiさんだよ！」

ルイーダ「やったー！」

ryouki「負けてたまるか！」

ゼルダ「でもまだ4つ残ってるよ！」

ゆうたん「そうだね！では、次のミニゲームはこれだ！」

ゼルダ「マリオパーティDSにて叩いてペンシルよ！」

ルイーダ「これもまた僕の勝ちだ！」

マルス「負けませんよ！」

ミニゲーム 叩いてペンシルスタート！

ルイーダ「おりやりやりやりやり・・・」

ryouki「尾ヲオらおらおらおらおらおらおら！」

シーク「それぞれそれぞれ！」

マルス「ていていていていていてい！」

終了！

ルイージ・・・45cm
シーク・・・43cm
マルス・・・40cm
ryouki・・・44cm
ルイージ WIN!

ゆうたん「今の勝負もルイージの勝ちだ!」

ルイージ「やったー!」

ryouki「おしいなあ・・・」

マルス「僕の方があまりないな・・・」

ゼルダ「次いくよ!」

ゆうたん「次のミニゲームはマリオパーティ8の1VS3の大空シューティングだよ!」

ゼルダ「1人でやる人はシークよ!残りの人は3人でやります!」

ミニゲーム 大空シューティング

シーク「君達を落とすよ!」

ルイージ「怖っ!でも、頑張つて逃げ切ろう!」

マルス「たったの30秒ですからね!」

ryouki「頑張ろう!」

スタート!

シーク「待てー!」

マルス「いきなり僕狙いか!」

ryouki「頑張れ!」

ルイージ「安心して場合じゃないよ!」

ryouki「そうだね・・・いつ流れ玉が飛んでくるかわからないからね!」

パン!

マルス「1個割られた!」

シーク「逃がすか!」

パン！

マルス「わーっ！」

ryouki「安心して下さい！残り15秒ですから！」

マルス「では、必ず勝ってください！」

ルイージ「ryoukiさん危ない！」

ryouki「あっ！」

パン！

ryouki「1個割れた！」

シーク「もう1個狙うよ！」

ryouki「避ける！避ける！」

シーク「当たらないな・・・」

残り5秒

シーク「2人もいるんだ勝てるわけがない・・・」

2・1・0！

ルイージ・マルス・ryouki WIN！

ゆうたん「今の勝利者はルイージとマルスとryoukiさんです！」

ゼルダ「残り2つです！」

ゆうたん「次のミニゲームはマリオパーティ8のシェイクでプシューだよ！」

ミニゲーム シェイクでプシュー

ルイージ「これ振るの大変だよ・・・」

スタート！

ルイージ「おりゃおりゃ！」ぶんぶん

シーク「それぞれ！」ぶんぶん

マルス「ドリヤドリヤ！」ぶんぶん

ryouki「おりゃりゃりゃ！」ぶんぶん

終了！

プシュー！

ルイーダ「だれが高く上がったんだ？」

ryouki WIN！

ゆうたん「今の勝負はryoukiさんの勝ちだよ！」

ゼルダ「残り1つだよ！」

ゆうたん「では、次行こう！」

ゼルダ「1回戦目の最終はマリオパーティ5のお散歩ワンワンわよ！」

ミニゲーム お散歩ワンワン

ルイーダ「これワンワンに笛を鳴らしてあげたらついてくるけど早くつかないと突進してくるよ！」

スタート！

ルイーダ「ピーー！」

ワンワン「ワンワン！」ドドドドドドッカーン！

ルイーダ「危ない危ない・・・」

マルス「ピーー！」

ワンワン「ワンワン！」ドドドドドド・・・

マルス「わー！」ドカーン！

マルス「あへあへ・・・」

シーク「これは痛そうだな・・・」

ryouki「それ！ピーー！」

ワンワン「ワンワン！」ドドドドドドッカーン！

ryouki「危なかった！」

終了！

シーク WIN！

ゼルダ「さっきの勝者はシークです！」

ゆうたん「これにて1回戦目の勝者2名は・・・ルイーダとryouki」

u k i さんです！

第1回戦！（後書き）

今日の日記 書いた人 シーク
今日のルイージはかなり強かった・・・

第2回戦（前書き）

ゆうたん「次の出場者は

ピーチ ネス ギルバートさん

アイク

だよ！」

第2回戦

ゆうたん「では2回戦です！今回は変えまして2VS2です！チームを変えます！」

赤チームは

ギルバートさんとネス

青チームは

ピーチとアイク

ゼルダ「では、マリオパーティ6のミニゲームです！ミニゲームは・・・大根抜き競争です！」

ゆうたん「では、はじめていこう！」

ミニゲーム 大根抜き競争

ピーチ「まけないわよ！頑張ろうよ！アイク！」

アイク「そうだな・・・」

ギルバート「あっちには負けないように引っ張るんだぞ！」

ネス「はいっ！」

スタート！

ピーチ「よいしょ！よいしょ！」

アイク「ふんっ！ふんっ！」

ギルバート「おりゃおりゃ！」

ネス「それぞれ！」

ボコン！

終了！

ギルバート ネス WIN！

ゆうたん「いま、さっきの試合の勝者はギルバートさんとネスだよ！」

ゼルダ「次のミニゲームは・・・組み立てロボットです！」
ゆうたん「では、行こう！」

ミニゲーム 組み立てロボット

ネス「ロボットを組み立てるんだね！」

ピーチ「今度こそ負けないわよ！」

アイク「眠い・・・」

ギルバート「ブロックを叩いてちゃんとしたパーツを乗せればいいんだな！」

スタート

ネス「それ！」ピコーン ドシーン

ピーチ「やつ！」ピコーン ドシーン

アイク「はあ！」ピコーン ドシーン

ギルバート「どりゃ！」ピコーン ドシーン

ネス「オリヤ！」ピコーン ドシーン

ピーチ「それ！ああ！」カーン

アイク「ややこしいな！それ！」ピコーン ドシーン

ギルバート「あと1つだ！どりゃ！」ピコーン ドシーン

終了

ギルバート ネス WIN！

ゆうたん「今のバトルも2人の勝利だ！あと1回勝つと決まるよ！」

ゼルダ「ピーチとアイクペア追いつけるでしょうか？」

ゆうたん「では、次のミニゲームは・・・海沿いドライビングだよ！」

ぜるだ「では、どうぞ！」

ミニゲーム 海沿いドライビング

ピーチ「岩を壊すのが大変なのよ・・・」

アイク「それなら俺のパンチで壊してやる！」

ネス「ギルバートさん・・・」

ギルバート「安心しな！俺のパンチもすごいんだぜ！」

スタート！

ピーチ・ネス「来た！」

アイク・ギルバート「これを壊せばいいんだな！どりゃ！」ボカーン！

ピーチ・ネス「次の岩が来たよ！」

アイク・ギルバート「俺に任せろ！」ドカーン！

ピーチ・ネス「次々来るよ！」

アイク「少し硬いな！」ボカーン！

ギルバート「それ！」ドツカーン！

終了！

ギルバート　ネス　WIN！

ゆうたん「これで、第2回戦を終わります！」

次回は、第3回戦

第2回戦（後書き）

今日の日記 書いた人 ネス

アイクとギルバートさんの破壊力は半端無いことがわかった

第3回戦（前書き）

クリスマスが終わってるのにみんなはクリスマス気分！？

第3回戦

ゆうたん「次の対戦はマリオパーティ7の4人用ミニゲームです！」
ゼルダ「これは先に3勝したもののか2勝以下の場合多いものが勝ちあがれます！」

ゆうたん「次の参加者はクッパ ドンキー ガノンドロフ ロイだよ！」

ゼルダ「では、やっていきましょう！」

ゆうたん「第1回は『集めて音符』だよ！」
ゼルダ「では、はじめましょう！」

ミニゲーム 集めて音符

クッパ「これは負けられないな！」

ドンキー「うほー！負けないぞー！」

ガノンドロフ「できるだけ頑張るぞー！」

ロイ「頭脳戦では無いな・・・」

スタート！

クッパ「どりゃー！」

ドンキー「とりゃー！」

ガノンドロフ「それ！」

ロイ「はあ！」

終了！

ロイ WIN！

ゆうたん「今の勝負の勝者はロイです！」

ゼルダ「では次です！」

ゆうたん「次の勝負は『登ってタワー』のミニゲームだよ！」

ミニゲーム 登ってタワー

クツパ「これはかなり大変だな・・・」

ドンキー「すすのみだ!」

ガノンドロフ「このトゲが大変だ・・・」

ロイ「落ちても落ちた場所からスタートなんですね!」

スタート!

クツパ「ジャンプがやりにくいぞ!」

ドンキー「どりゃー!」

ガノンドロフ「ふん!」

ロイ「やあ!」

ぴゅいん!

クツパ「何!?」

スポッ!

ドンキー「うおっ!」

ロイ「よし!」

ガノンドロフ「よくみるよ!」

ゴール!

ロイ ガノンドロフ WIN!

ゼルダ「なんと!ロイとガノンドロフが同時ゴールです!」

ゆうたん「ロイは残り1勝だよ!」

ゼルダ「次は『抜け出せ!オバケ屋敷』です!」

ミニゲーム 抜け出せ!オバケ屋敷 スタート!

クツパ「ぐおっ!」テレサ「ケケケケケ!」

ドンキー「ムオッ!」ドカン!

ガノンドロフ「まだ向こうか!」

ロイ「あの辺が危ないから・・・」

フィニッシュ!

ロイ WIN!

ゼルダ「この試合で終わってしまいました！勝者はロイとガノンド
ロフです！」

第3回戦（後書き）

今日の日記 書いた人 ガノンドロフ
何とか勝てたぞ！

みんな「一言感想か！」

ミニゲーム大会終了・・・（なぜかって？新年を迎えるから！）（前書き）

なんか、ミニゲーム大会がだるくなってしまっただけを書いていきます・・・

ミニゲーム大会終了・・・（なぜかって？新年を迎えるから！）

マリオ「早くも新年になるからその用意でこっちは大変だから結果を教えるぞ！」

ルイーダ「では4回戦から8回戦の勝った人は

4回戦 リンク ファルコ

5回戦 ピット ファルコン

6回戦 デイディー 死神魔姫

7回戦 マリオ しら

8回戦 ソニック スマッシュ

2戦目

1回戦 ryouki ネス

2回戦 リンク ロイ

3回戦 ピット 死神魔姫

4回戦 しら スマッシュ

準決勝

1回戦 ryouki リンク

2回戦 ピット しら

決勝戦 優勝 しら

2位 リンク

3位 ryouki

ゆうたん「優勝はしらさんです！おめでとうございます！」

ゼルダ「しらさんには子供達から優勝トロフィーがわたされます！」

ピチュー「おめでとう！しらさん！」

しら「ありがとうございます！」

リユカ「2位ですがおめでとうございます！リンクさん！」

リンク「悔しいけどありがとうございます！」

ポポ・ナナ「3位入賞です！おめでとう！ryoukiさん！」

ryouki「ありがとうね！」

ゆうたん「これで、ミニゲーム大会を終わります！」

ミニゲーム大会終了・・・（なぜかって？新年を迎えるから！）（後書き）

今日の日記 書いた人 しら

やったー！僕は優勝したぞー！

このトロフィーを何処におこうかな・・・

作家家の中（何処かにへそくりがあるかも！）（前書き）

スマッシュ「今日は作家家のみんなの部屋にいつていきたいと思
います！」

作家家の中（何処かにへそくりがあるかも！）

スマツシュ「最初の部屋はしらさんの部屋です！前回のミニゲーム大会で優勝した、トロフィーは何処にいているでしょうか！」ガチャッ！

しら「いきなりなんですか!？」

スマツシュ「部屋の調査です！」

しら「あの・・・別に普通のばかりですよ・・・」

スマツシュ「ふゝん・・・あっ！トロフィーは？」

しら「トロフィー？それならあそこにありますよ！」

スマツシュ「あっ！本当だ！」

しら「こっちは一応終わりましたのでついていいですか？なにか、楽しそうなので」

スマツシュ「いいよ！」

しら「ありがとうございます！」

スマツシュ「次の部屋はゆうたんさんの部屋です！キャスターはこのスマツシュと」

しら「僕、しらが調べていきたいとおもいます！」

スマツシュ「さて、中はどうなっているのか？」ガチャッ！

ゆうたん「うわっ！びっくりした！」

しら「突撃作者の部屋です・・・」

ゆうたん「んで、どうしたの？」

スマツシュ「いや・・・その辺・・・ケーキの本や料理の本があつてね・・・」

ゆうたん「ん？ああ、この本だね！あげるよ！」

スマツシュ「・・・ありがとう・・・」

しら「時には掃除もしたらどうですか？」

ゆうたん「・・・本がありすぎて掃除が出来ないんだよね」

スマッシュ「わかったよ・・・では、お邪魔しました!」

スマッシュ「次の部屋はパルポンさんです!」

しら「といっても・・・いるかわかりませんよ?」

スマッシュ「そんなことはどうでもいい!」がちゃっ!ドカーン
しら「大丈夫ですか?」

スマッシュ「・・・」

パルポン「あっ!勝手に発動したんだ・・・」

スマッシュ「突撃作者の部屋です・・・」↑落とし穴の種に引っ掛
かっている

パルポン「ごめんな・・・」

スマッシュ「いいよ・・・」

しら「ところで何も無い部屋ですね・・・」

パルポン「ん?築かないのか?」

しら「えっ!?!」

パルポン「この部屋は落とし穴の種で埋めつくされている!」

しら「動くのは危険ですね・・・」

パルポン「ちなみに俺は何処に埋めたか分かってるぜ!」

しら「メモがあるんですか?」

パルポン「いや、メモは俺の頭だ」

しら「すごいですね」

スマッシュ「・・・」

2人「あっ・・・まだ埋まっていたんだ・・・」

スマッシュ「・・・」

パルポン「仕方がない・・・抜くか!」

しら「よいしょ!」

スマッシュ「ああ!助かった!」

しら「どうしたんですか?」

スマッシュ「床が、かなり壊れかけていたようですね」

パルポン「ところで、なんで2人でやっているんだ?」

スマツシュ「ん？ああ、大人数で行っても邪魔になるんじゃないかな？と思って」

パルポン「そうか・・・」

スマツシュ「次は竜斗さんです！」

しら「もう小説家じゃないけどね・・・でも、ちゃんといえるかな？」
スマツシュ「そんなことはいいから入ろう！」ガチャッ！

竜斗「どうしたんですか！？」

しら「どうも！突撃作者の部屋です！」

竜斗（なんか、突撃隣の晩御飯みたいだな・・・）

スマツシュ「なんだ！案外、片付いているね！」

しら「そうですね！」

竜斗「はい！でも、埴輪をどうしようかな・・・」

スマツシュ（そうだった・・・埴輪をどうやって置こうかな・・・）

竜斗「まあ、いいや！ところで楽しいね！他の人の部屋に入るなんて！」

しら「そうですね」（嬉）

竜斗「ついていっていいですか？」

スマツシュ「いいよ！」

竜斗「ありがとうございます！」

スマツシュ「竜斗さんが入って次の部屋へ！次の部屋はギルバートさんです！」

しら「・・・なんか武器とありそうですね・・・」

竜斗「そうだね・・・」

スマツシュ「そんなことで突撃！」ガチャッ！ボカーン！

ギルバート「あれ？悪い奴が入ってくると思ったのに・・・」

スマツシュ「・・・」↑焦げている

しら「あら・・・」

竜斗「・・・」

ギルバート「ところでなに？」

しら「部屋の訪問です！」

ギルバート「そうか・・・見たいものが無さそうだけどゆっくりしていつてよ！」

竜斗「ん？なんですか？これ？」

ギルバート「なんだ？ああ、これか！これは・・・」

しら「しっかりしてください！」ザバーツ！

スマッシュ「はっ！」ぼたぼた・・・

しら「どうしましたか？」

スマッシュ「いや、何も無いよ」

ギルバート「すまん！勝手に撃って」

スマッシュ「いいよいいよ！大丈夫！じゃあ、次に行こう！」

次回はPLAT2

作者家の中（何処かにへそくりがあるかも！）（後書き）

今日の日記 書いた人 パルポン

今回はスマツシュが落とし穴の種に掛かった！

前回はゆうつたんが掛かったのに（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8261y/>

スマ村のみんなの生活

2012年1月10日22時47分発行